

# Juniper SRX 日本語マニュアル

---

ファクトリーリセット手順

JUNIPER  
NETWORKS

Engineering  
Simplicity

# はじめに

---

設定を工場出荷状態に戻す方法を説明します。

※手順内容は「SRX300」、JUNOS「19.4R3-S1」にて確認を実施しております。  
実際の設定内容やパラメータは導入する環境や構成によって異なります。  
各種設定内容の詳細は下記リンクよりご確認ください。

<https://www.juniper.net/documentation/>

2021年7月

# アジェンダ

---

- Reset Config ボタンによるファクトリーリセット
- load factory-default コマンドによるファクトリーリセット
- request system zeroize コマンドによるファクトリーリセット

# Reset Config ボタンによるファクトリーリセット

SRX の前面パネルにある Reset Config ボタンを使用して、デバイスを工場出荷時のデフォルト設定にリセットすることができます。  
Reset Config ボタンは、誤って押されないように凹んでいます。



1. 前面パネルの RESET CONFIG ボタンを 15秒以上押し続ける
2. ステータス LED がオレンジ色に点灯
3. 工場出荷時の Config がロードされ、コミット

```
Config button pressed  
Committing factory default configuration
```

コンソールアウトプット

※ Reset Config ボタンを使用してデバイスを出荷時のデフォルト設定にリセットすると、Rescue Config や Rollback Config を含むすべての設定ファイルが削除されます

# factory-default コマンドによるファクトリーリセット

load factory-default コマンドを使用し、デバイスを出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。このコマンドは、工場出荷時の設定をロードしてコミットしますので、Rescue Config や Rollback Config などその他の設定ファイルは削除されません。

1. load factory-default コマンドを実施

```
root@srx# load factory-default
```

2. set system root-authentication plain-text-password コマンドを使用し、デバイスの新しいルートパスワードを設定

```
root@srx# set system root-authentication plain-text-password
```

3. root パスワードを 2 回入力

```
New password:  
Retype new password:
```

4. commit を実施

```
root@srx# commit
```

commit 後、工場出荷時の Config が Active Config となります。

※ SSH ログイン等、遠隔から操作されている場合は、IP address の設定やルーティング等、管理アクセスが行える設定を追加後、commit を実行してください

# request system zeroize コマンドによるファクトリーリセット

request system zeroize コマンドを使用して、デバイスを出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。このコマンドは、他の Config (Rescue Config や Rollback Config) やログ情報を含む全てのファイルを削除します。

- request system zeroize コマンドを実施

```
root@srx> request system zeroize
warning: System will be rebooted and may not boot without configuration
Erase all data, including configuration and log files? [yes,no] (no) yes
```

再起動後、工場出荷時の Config が Active Config となります

## 補足: Auto Image Upgrade ログの無効化

- 初期設定では ZTP により以下のログが継続して出力される

```
Auto Image Upgrade: DHCP Client Bound interfaces: ge-0/0/0.0
Auto Image Upgrade: DHCP Client Unbound interfaces: ge-0/0/7.0
Auto Image Upgrade: To stop, on CLI apply
"delete chassis auto-image-upgrade" and commit
Auto Image Upgrade: DHCP client(s) with NO VALID CONFIG, phone-home ZTP started
Auto Image Upgrade: Waiting for phone-home ZTP to complete
Auto Image Upgrade: DHCP OFFER Client ge-0/0/0.0: Invalid config.
No File Server Information. OFFER REJECTED.
```

### 下記コマンドで無効化

```
root# delete chassis auto-image-upgrade
root# commit
```